

介護福祉士制度の概要

1 経緯及び概要

1987年（昭和62年）3月23日に中央社会福祉審議会等福祉関係三審議会の合同企画分科会から出された「福祉関係者の資格制度の法制化について」（意見具申）に基づき、「社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）」が第108国会において1987年（昭和62年）5月21日成立、同5月26日公布された。

2 定義

介護福祉士は、同法に基づく名称独占の国家資格であり、「介護福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき入浴、排せつ、食事その他の介護を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行うことを業とする者」をいう。

3 資格取得方法

介護福祉士資格取得方法は、大きく以下の3つのルートがある。

- ① 厚生労働大臣が指定する介護福祉士養成施設を卒業する途
- ② 3年間の介護の現場での実務経験を経た後、国家試験に合格する途
- ③ 厚生労働大臣が指定する科目を履修する福祉系高校を卒業（卒業見込を含む）し、国家試験に合格する途

4 介護福祉士国家試験の概要

○形態

- ・年1回試験（第1次試験（筆記試験）、第2次試験（実技試験））
- ・筆記試験については1月下旬、実技試験については3月上旬に実施。

なお、実技試験について、介護福祉士指定養成施設等において行う介護等に関する専門的技術についての講習（介護技術講習）を修了した者に対して実技試験を免除する制度を2005年度（平成17年度）から導入。（2005年度（平成17年度）介護技術講習修了者：33,674人（2006年（平成18年）1月30日までに報告された人数）

○筆記試験の科目（13科目）

- ①社会福祉概論 ②老人福祉論 ③障害者福祉論 ④リハビリテーション論
- ⑤社会福祉援助技術（演習を含む）、⑥レクリエーション活動援助法、
- ⑦老人・障害者の心理、⑧家政学概論 ⑨医学一般、⑩精神保健、⑪介護概論、
- ⑫介護技術、⑬形態別介護技術

○実施機関

社会福祉士及び介護福祉士法第10条第1項の規定により厚生労働大臣が指定した（財）社会福祉振興・試験センター

○試験の実施状況（2005年度（平成17年度）実施の第18回試験結果）

受験者数130,034人、合格者数60,910人（合格率46.8%）